

# とよはし ニュース

## 豊橋市議会 議員 松崎正尚

### 豊橋市制施行110周年!



### あいちトリエンナーレ2016 豊橋みなとフェスティバル

豊橋市民映画祭  
のんほいパーク プレミアムナイトガーデン  
TOYOはしごナイト記念開催  
ホコ天 こども夜店  
その他 市民提案型イベントを多数開催



豊橋市民よ、  
豊橋市歌をうたおう！  
かわきたバス  
Let's Go! スマイル号！

お騒がせしております。  
政務活動費とは。

発行元：自由民主党豊橋市議団

### 市民・市議会・市長の関係

### 市議会って？



わたしたちが住んでいる豊橋市を住みやすくするにはどうしたらよいか。それは、クラスのことをクラス全員で決めるように、市に住んでいるみんなで意見を出しあって考えるのが、一番よいやり方です。

でも38万人もの豊橋市民が一度に集まって話し合うのは大変。

そこで、20歳以上の豊橋市民が選挙をして、わたしたちの代表を選んで話し合うことにしています。その代表者を『市議会議員』、市役所の人のお考えも聞きながら、話し合いをすることで『市議会』といいます。

### ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

各種行事・イベントは可能な限り参加させていただきますので、気軽にお声掛けください。

メール masanao-m@tees.jp

電話 0532-52-5516

FAX 0532-56-0956

松崎正尚

検索



### 松崎正尚事務所

〒440-0086  
豊橋市下地町字橋口139番地



可能な限り更新しています。  
地元ネタ・グルメ・スポーツ・  
芸能・車... e.t.c

### どすごいブログ更新中!

平成27年度までの人気記事

- ① 千と千尋と名鉄電車
- ② ライダーマンから学ぶシモジロウ。
- ③ ほにや・・・豊橋に来てくれんかやあ。
- ④ 高倉健伝説は本当です。
- ⑤ ああ、トリプルファイター①
- ⑥ ALPINEとSOARERのコラボ。
- ⑦ 夏帆ちゃんin一期家一笑さん。
- ⑧ 湖西のプール、行こっ!
- ⑨ 下地のまちが
- ⑩ 鈴木亜由子選手、まさかの大逆転劇!



# 全国へ 世界へ はばたけ ぼくらのとよはし



## 名豊道路七根IC周辺に『道の駅』

市内初となる道の駅を七根IC「食彩村」周辺に整備。「見て」「買って」「味わい」「楽しむ」をコンセプトに、産業振興の拠点を目指す。ライバルは潮見。【道路建設課】



## 一歩進んだ豊橋の子育て支援

保育園等の保育料や放課後児童クラブの利用料など、子育てにかかる経済的負担の軽減措置を拡充。ひとり親世帯への負担額軽減も。【保育課ほか】

## 施設隣接型小中一貫校『前芝学校』開設

子供たちの育ちを軸にした地域ぐるみの教育をより充実させ、豊かな人間力と確かな学力向上を目指す。9年間にわたる一貫指導。【教育政策課】



## メイカーズ・ラボとよはし



## デジタル工作機械を揃えたラボを設置

誰でも新たなものづくりに挑戦できる場を整備するとともに、利用者同士の交流を促進。多彩なプロジェクトの拠点とする。Let's try! 【産業政策課】

## あいちトリエンナーレ2016が豊橋で開催

最先端の現代アートが豊橋にやってくる! 3年に一度の国内最大級の国際芸術祭。今回新会場として名乗り出た。豊橋の芸術文化の転機となるか。【文化課】



## 『海フェスタ』開催、東三河の魅力を全国発信

前回の熊本から東三河へやってくる! 海・川・港の魅力や重要性を次の世代へ繋げ。多彩で豊かな東三河の地域資源を全国発信! 【みなと振興課】



## UIターン就業促進で中小企業の人材確保

就職や転職を契機に移住を希望する首都圏在住者に対して、豊橋市へのU(帰郷)I(来る)J(途中下車?)ターンを促進。【商工業振興課】



## 次世代を担う人づくりプラン

## 産業活力創造プラン

## 環境実践都市プラン

# ぼくらのとよはし

## 『ほの国東三河応援倶楽部』の活用強化

首都圏在住の豊橋出身者らで構成される『ええじゃないか豊橋応援倶楽部』を東三河版に拡大。東三河が日本を席巻する日も近い。【首都圏活動センター】



## 高齢者定期券『元気バス』購入助成

『元気バス』...路線バスを1乗車一律100円で乗車できる高齢者向け定期券。購入するかしないかはあなた次第。さあどうする? 【長寿介護課ほか】



## 穂の国とよはし芸術劇場から芸術文化を

野村萬斎主演『マクベス』をはじめ、小学6年生を対象に劇団四季ファミリーミュージカル、中学生対象に名フィル交響楽団コンサートを公演。スゴイ! 【文化課】



## 公共下水道未普及地区整備&既存施設再整備

公共下水道第九次拡張事業に着手。また既存施設の老朽化対策、大地震に備えた耐震化も併せて再整備していく。【下水道整備課ほか】



## 第二弾! 津波防災センター建設成

地震発生から約77分で三河湾沿岸部に津波到達。牟呂三郷地区につづき、杉山町天津地区に新たに建設。地域防災力強化を目指す。【防災危機管理課】



## 駅前二丁目地区の市街化再開発

まちなか図書館(仮称)、まちなか広場(仮称)をはじめ、商業・サービス業・住宅等からなる新たな魅力拠点の整備事業に対し支援。【まちなか活性課ほか】。



## 『生ごみ』分別収集へ向けて全市民へPR!

平成29年4月からスタートする「生ごみ」の分別収集に向けて、全市民に必要性や分別方法、持ち出しマナーなどをきめ細やかにPR。【環境政策課】

## のんほいパークの魅力向上!

エサやりなど動物たちとのふれあい広場の整備やパワーアップしたプレミアムナイトガーデンの開催。プロジェクションマッピングも登場? 【動植物公園】



## 個人番号カードで各種証明書コンビニ交付

平成29年1月からコンビニで、住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写しを取得可能に。【市民課】



TOYOHASHI-CITY



## ■農産物ブランド化

**Q.農産物等ブランドを育て上げ、プロモーションと絡めていくのか。**

Ⓐ本市の農産物は、生産量、品質など、日本トップクラスであり、評価は高いものの、消費者から選ばれるブランド力は有していないと認識。食味、味や品質にすぐれた商品づくりやプロモーションに取り組み、農業王国である豊橋のブランドを確立していきたい。

Ⓑブランド化は、他の地域の製品と差別化を図り、品質も保証するといった大きな責任を持って取り組むべき。機能性表示制度や地理的表示保護制度の導入は本市にとって大きな追い風になる。

農産物、畜産物や水産物の宝庫である東三河全域で取り組むことで、日本ナンバーワンの食ブランド地域にできるのではないかと。

**Q.農産物等のブランド化に対する広域的な取り組みについて伺う。**

Ⓐ豊橋市のトマト、柿、田原市のメロン、蒲郡市のミカンなど、東三河各市の高いレベルの農産物の一体的なプロモーションを行うことで消費者に強く印象づけることができ、ブランド力強化が図られると考えている。広域的な取り組みの効果は大きく、消費者に選択される産地としてのブランド力も高まっていくものと考えている。

Ⓑ豊橋市には既に幾つものブランドがある。昔も今も変わらぬうまさといえば、商品が浮かぶ。黒いパッケージに稲妻で想像がつく。こういったブランディング戦略は本来私がしたかった話である。

ブランドイメージ、マーク、メッセージとなるキャッチフレーズやカラー、これらを今後一緒に考えていきたい。

何をどのような形で売っていくのかという課題を豊橋だけではなく、東三河全域で、あるいは三遠南信など、大きく取り組んでいただきたい。本市がリーダーシップを発揮し、広域ブランド計画を進めていかれることを期待する。

## ■ロケ誘致

**Q.映画やテレビのロケ誘致に対する認識と対応について**

Ⓐ2年前のドラマ「みんな！エスパーだよ！」以降、映画やテレビのロケがふえ、大変喜ばしい状況。撮影スタッフに対するきめ細かなフォロー、市民の温かいおもてなし、エキストラへの積極的参加など、オール豊橋による応援姿勢が評価された結果であると認識している。そうした評判が口コミで伝わり、ロケに協力的なまちとして広く認知されるようになってきている。今後、首都圏でのプロモーション活動を一層強化し、映画・テレビ制作関係者に本市のロケ地としての魅力もPRしたい。

Ⓑ撮影時に親しくなったスタッフ曰く、なぜ豊橋か。東京から近い。近いことにより撮影のスケジュールが組みやすい。俳優、タレントの管理もしやすい。何よりこの地域の地形と歴史があり、古いものから新しい建物まで、全てがこの駅周辺でそろっているというところが大変な魅力であるようだ。

今後の首都圏でのプロモーション活動の強化に関して言うならば、既存の優位性に甘えない競争力(営業力)が必要。他都市の営業は非常に猛烈。制作会社向け専用ロケ地パンフレット、こういったものを作成して、九州、北陸から営業に来ているようである。ぜひとも相手方の求めるデータ、書類等を用意してPRをしていただきたい。

**Q.園子温監督と豊橋市とのコラボレーションについて。**

Ⓐ映画「新宿スワン」の公開日5月30日に、舞台となった歌舞伎町にて映画の応援とあわせて530運動を実施し、全国から注目をされる大きなプロモーション効果を上げたところである。

Ⓑこのようなタイアップ企画を有効活用して、「530」という豊橋の、ある意味一つのブランドを全国に広め、530発祥の地から530拡散の地へステップアップしていただきたい。



## ■観光

**Q.宿泊客増加に向けた観光への取り組みについて。**

Ⓐ昨年度、外国人旅行者数が14万人を超えた。今後、地域産業にとって重要。本市の魅力を発信する取り組みを行っていく必要がある。本年度は、吉田城の整備並びに外国人観光客を対象とした、手筒花火の放揚、豊橋駅東西自由連絡通路への多言語化に対応した。

Ⓑ豊橋市の外国人観光客の大半は、ツアーの中継地点として立ち寄る。韓国の仁川国際空港では、待ち時間を有効活用したショッピングや観光などのトランジットツアーを用意し、それにより外貨獲得と新たな観光客誘致に効果を上げている。自分が旅に出た時、比較的多くの方がこのようなオプションツアーを活用するのではないかと。

**Q.豊橋発観光オプションツアーの考え方について**

Ⓐ東三河地域は、潜在的な観光資源が多くあり、これらを有効的に組み合わせ、ツアーとして発信することで多様化する、国内外を含めた観光客のニーズに的確に応えるとともに、地域の魅力を印象づけることができるものというように考えている。

Ⓑ地元では当たり前だが、旅行者にとっては価値あるものと感じることが大切。東三河の自然や施設、イベントだけでなく、豊橋の夜店、歩行者天国、祇園花火、ビール電車…これらを掛け合わせることで魅力あるオプションとなるのでは。

人口が東三河とほぼ同規模の島根県。観光ナビでオプションツアーを大々的にうたっている。エリア別、そして、テーマも自然や文化・伝統芸能、神話やパワースポット、食、まち歩きなどテーマに分け、半日、日帰り、1泊2日のツアーを46通りも設けている。かつて豊橋にいた中国人留学生に「豊橋の一番の魅力は何ですか」アンケートをした。動物園でも花火でもなく、表浜の海だというように答えた。地元の魅力は、外から見たほうが正確かもしれない。



## ■防災

防災避難訓練は、

大水被害、火災、津波に対してでは避難方法が異なってくる。災害が起きた際の第一指定避難所、津波が起きた際の一時(いつとき)避難施設、この違いが混同している市民が多いのでは。今後指導していくのであれば、どこを避難経路・危険場所として設定するのか、指導・提案していく必要がある。

震災当初から、津波被害を懸念されていた汐田、牟呂、吉田方、前芝校区には現在、4校区で39か所の避難施設が指定されている。一方、ほぼ同じ標高の津田、下地、大村校区は5か所しか指定されていない。今後の津波対策、津波の避難計画に沿って、地域との協議の中で模索していくことが重要である。



## ■史跡瓜郷遺跡

瓜郷遺跡の公園整備用地購入を進めている。平成26年度の購入対象地は製菓工場、非常に広い土地であった。市側も協力して、豊川市内で要件に合う土地を移転先とした。ひとつ注文すれば、なぜ豊橋市内にとどめられなかったのか。産業振興、企業誘致を行っていく中で、市内で移転を希望する事業者がいるのであれば、そういった用地を考える必要があるのではないかと。

対象地域には一般住宅が何世帯も残っている。住み慣れた地元に残ってほしいという思いが本音であるが、瓜郷町の大半が調整区域で農地が多く、宅地に恵まれていない。そういう理由で移転先に苦慮されている方々に対し、適切な相談や対応をされることを期待している。



## ■豊橋市歌

市制施行50周年に発表。詞の補詞担当の丸山薫さんは、現代詩の世界で最も親しまれている豊橋ゆかりの詩人。作曲の古関裕而さんは、日本を代表する作曲家。阪神タイガースの「六甲おろし」、高校野球の「栄冠は君に輝く」を作曲された方でもある。

豊橋市歌も同様に、元氣、勇気が湧く楽曲であり、ふるさとへの愛着を増強させるすばらしい芸術作品である。昨年、ドラマ『ルーズヴェルト・ゲーム』の撮影が豊橋市民球場を舞台に行われ、多数のエキストラが劇中で主人公チームの社歌を歌うシーンを観た。見ず知らずの豊橋市民らが肩を抱き合い歌っている。このドラマの中で、もっとも感動した場面であった。

市内各中学校では、合唱コンクールが盛んに行われ、クラスが心をひとつにし、青少年健全育成の文化となっている。卒業式では校歌や卒業の歌が合唱され、生徒、父兄や教員の方々までもが共に涙を流す

## ■豊橋ほっとメール

防災情報、防犯、不審者情報、交通安全や消費生活の情報などを、市民が市役所に問い合わせることなく発信するサービス。携帯電話代理店に、啓発パンフレットの配布を依頼し、登録者の大幅増につながった。ご年配の方たちにこそ利用してもらいたいところだが、登録の仕方がわからない方が多いのではないかと。市や校区の防災訓練や防犯教室など、意識の高い市民が集まる機会に、登録を促す。また市役所や窓口センターでも登録サービスに努めるなどして普及に努めていただきたい。



## ■空き店舗活用

商店街の空き店舗を、活性化やイメージアップを図るための賃借料に対して補助する制度。比較的若い方が申請をされ、にぎわいが創出できるエリアが多い。これまで32店舗中半数以上の店舗が3年以上、現在は補助なしで営業されている。目新しいお店、飲食店、衣料品店などを誘致して若い世代を呼び込もうという考えが強かったかもしれない。しかし我々の世代も、以前お世話になりながらも閉店したお店が息を吹き返すことで、再度まちへ足を運ぶ大きな動機に繋がるようにも思っている。

事業者さんが、店舗を出すための補助金ではなく、豊橋のまちなかで成功し、活性化させたい、こういった野心や野望を持った事業者さんのチャレンジ精神に対して、背中を後押しできるような補助金制度であると考えている。今後、まちなかでのイベントとリンクさせ、相乗効果を上げていかれることを期待する。



**110周年を機に、市歌普及への取り組みが行われることになりました。**



## ■下水道整備

80年以上が経過している箇所もあり、老朽化を初め、多くの課題を抱えている。平成26年度、不良箇所の調査及び周辺の地質調査のデータをもとに耐震診断が行われた。八町幹線、柳生活污水幹線、八町西幹線、船町幹線、八町雨水放流幹線、下地第一、牛川第一及び牟呂污水幹線の8路線について耐震性能が確保されていないことが確認された。考えられることは管渠の破損等による道路の陥没、液状化現象などである。いずれも比較的古い線であり、豊橋の中心を走る大動脈でもある。着実に施工を進めていただきたい。

緊急輸送道路下の更生、マンホール本体の耐震補強、老朽化の対策ともあわせて速やかに施工していただきたい。



## ■豊橋市民プール

市民プールの利用者が非常に大きく減少している。少子化の影響もあるが、アクアリーナ豊橋、あるいはりすば豊橋、民間のシーパレス等に徐々に移行している。

現行の市民プールを10年、20年後も今の形のままでいいのか。では、なくせばいいのか。やはり市民の、水に親しんで遊べる場所が欲しいという意見を生かすのであれば、近隣で非常に人気がある豊川市の赤塚山公園(ぎょぎょランド)の噴水広場のような施設の設置が望まれる。親が水着に着がえる必要もなく、子どもたちが水遊びしているところを見守る、またシャツのまま一緒に遊べるような、気軽に立ち寄れる場所が欲しい。

アクアリーナ豊橋、シーパレスなどに家族料金などの設定で、さらに現市民プールの受け皿になるのではないかと考える。

ほどの感動を呼ぶ大きな儀式となっている。

また選抜の高校野球、豊橋工業高校が出場したが、在校生、OBらは、甲子園球場という晴れ舞台で、母校の校歌を歌いたいという思いで球場に足を運ばれた方も少なくはなかっただろう。

ではなぜ豊橋市民は豊橋市歌を歌わないのか、また歌えないのか。それもそのはず、教育されてないからだ。横浜市からおもしろい数字が出ていた。2011年にFM横浜のラジオ番組がサイト上で行ったアンケートで、実に横浜市歌を歌える市民が72%である。そのほとんどが横浜市育ち。なぜなら現在も各小学校で校歌とともに歌われているからだ。いわゆる「はまっ子」と言われる横浜育ちの方々は、横浜市歌を歌えて、横浜市歌を歌える子が「はまっ子」であるという形ができ上がっている。

豊橋市歌が発表された60年前、小学校、中学校で数年の間、学校教育の一貫として市歌を教えていたようである。できれば横浜市同様、学校教育に再度盛り込むなど、豊橋育ちは誰もが歌える文化を形成していただきたい。

インターネットで一般質問の録画中継・議事録がご覧になれます。	下から2段目	画面右側	議員名一覧から
<input type="text" value="豊橋市議会"/>	<input type="text" value="インターネット映像中継"/>	<input type="text" value="議員名から探す"/>	<input type="text" value="松崎正尚"/>
<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="クリック"/>	<input type="button" value="クリック"/>	<input type="button" value="検索"/>





# 発車オーライ!!

平成28年1月12日GO!



かわきた(大村・下地・津田)エリアの公共交通未整備地域に、待望のコミュニティ・バスが運行開始。豊橋駅前から大村・下地～津田方面へ毎日4便ずつ(平日のみ)元気よく走っています。

2年間の実証(テスト)運行です。今後もかわきたバス実行委員会を継続し、地域のみなさんの意見を取り入れ、利便性の向上に取り組んでまいります。ルートや運行時間等の変更が行われる場合は、スマイル新聞、または校区回覧で報告させていただきますので、ご了承ください。



みんな笑顔でまちな出よう。

バスがみんなを笑顔に・・・。

そんな想いを込めて、北部中学校の生徒さんたちが名付けてくれました。

みんな笑顔でGO!

かわきたバス『スマイル号』

## 豊橋市全体

### とよがわと親しむ

東三河地域の象徴であり、豊橋市の中心地を優雅に流れるとよがわ。市民とふれあう場所と機会をもっともっと創りたい。



### 沖野地区の有効利用

競技場との連絡路を確保。クロスカントリー、マラソンコースとして活用。常時は花咲く遊歩道として利用したい。



### とよがわを歩く!?

中心市街地からほど近く、なのに驚くほど自然がいっぱい。写真はとよがわで実際に行われるスタンドアップパドル。



### 嗚呼、吉田城

この景色を眺めると幸せな気持ちになりませんか? 吉田大橋から眺めたこの景色。隣接する沖野地区、対岸の下地緑地との一体的な整備により、市内外の方々が立ち寄りたくなる癒しのスポットとなってほしい。



# 28年度へ～by Matsuzaki～

## 豊橋公園周辺の魅力増進計画

### スポーツ施設



あくまでも松崎正尚個人の考え方です!!

平成27年12月、『豊橋公園・豊橋総合スポーツ公園整備の方向性(案)』が示された。陸上競技場メインスタンドの大改修に着手するが、公園全体の未来図は描けていない。市民の声で、全国に誇るシンボル公園をつくりあげよう。



### 総合管理事務所

公園内の施設管理者がすべて異なり、一体的な運営ができていません。一元管理を行う事務所が必要です。



何が足りない?!

老朽化著しい豊橋球場。バックネット裏から試合が見られない観客席、コンクリートむき出しの外野フェンス。またイベント会場として頻繁に使用され、芝生の敷設もできません。再度、豊橋のメインスタジアムとして整備したい。写真は仙台市の宮城球場を再生した『楽天Koboスタ宮城』。最終形を決めて年次ごとに改修したい。



『豊橋公園・豊橋総合スポーツ公園整備の方向性(案)』では、既存の市民プールを廃止し、テニスコートが移設される計画。しかし武道館や弓道場などの施設拡大の可能性がなくなり、沖野地区への導線も遮断されます。とよがわを生かした将来的な発展が見込めません。テニスコートの代替地、プールに替わる水遊び施設の設置場所を再検討したい。またイベント開催が可能なサブグラウンド(多目的広場)の設置が不可欠です。現在、競技者のウォーミングアップエリアがほとんどない。一度整備すれば30年は動かさない。関係各所と協議していきたい。



平成27年度

気付きました?

## 地元(大村・下地・津田・前芝) 地域

平成28年度事業

これから



### 大村町光道神社

路面がえぐれ、大きな水たまりが・・・お宮を守る氏子のみなさんの声で砕石が敷かれました。



### 北部中学校体育館

球技大会開催時、なんとこの中窓から選手・父兄が入り出していました。お母さんの声が凄まじい。



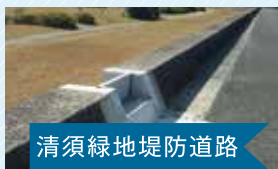
### 大村町大蚊里の市道

排水溝とのレベル調整を行うことにより、雨天時の水浸しが解消されました。



### 正岡橋南交差点

車両感応式(歩行者は押しボタン式)のため、待機時間が非常に長かった信号機を、一般信号へ変更しました。



### 清須緑地堤防道路

車両の通行時、張り出したブロックが非常に危険であったため撤去しました。



### 下地町若宮公園

子供たちが元気にボール遊びができるように近隣住宅へ配慮した防球ネットが設置されました。



### 津田分団

に新型車両活動強化のため、消防団車両の機能の充実を図る。



### 下地校区

の本格的な浸水対策大雨浸水対策として、水路改良へ向けた実施設計。



### 前芝出張所

新規移転豊橋市北西部の消防防災活動拠点の機能強化を図る。日色野町に建設予定。



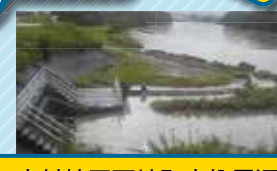
### 下地老人福祉センター

耐震化耐震診断結果により、外壁のひび割れなどを改修。



### 大村小学校

大規模改修老朽化した校舎の大規模改造工事。外部・内部とも2年がかりで実施される。



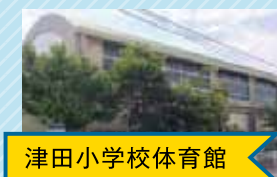
### 大村校区下地町大塚周辺

下地～大村地区の水害対策県営緊急農地防災事業。固定ポンプ設置へ。



### 大村防災

大村校区に防災備蓄倉庫備蓄食料・資器材等の保管場所として建設。



### 津田小学校体育館

改良工事老朽化した施設の長寿命化を図る改良工事。

## 政務活動費ってよく聞くけど・・・?

### 一般的には

- ◆ 収支報告書の提出は義務付けられていますが、詳細は決められていません。
- ◆ どこまでの書類を求めるかは自治体により異なります。
- ◆ 剰余金は返還しますが、領収書の添付まで求めているケースが多い。
- ◆ 事実上チェックすることが不可能であり、その点が批判の元となっています。

### 豊橋市議会の場合は

- ◆ すべての支出に対して会派名を記載した領収書の添付が必要となります。領収書が発行されない場合は、支出証明書にレシート等を添付し、会派代表者の印を必要としています。
- ◆ 市政報告新聞などは作成した新聞の原本控えを提出するため、架空の印刷費などは計上できません。
- ◆ 視察等は計画書、報告書添付のため、城崎温泉に何十回も訪れる事はまず不可能です。
- ◆ 自由民主党豊橋市議団では、固定電話代を政務活動費として計上しておりません。(電報料金など、通話以外のサービスが含まれる場合があるため)
- ◆ 以上のことから、各地で起きたような不正は発生しにくいものと考えられます。

交付額や交付方法については、自治体により異なります。

- 名古屋市議会議員の場合  
・・・月額50万円(年額600万円)
- 豊橋市議会議員の場合  
・・・月額9万円(年額108万円)



政務活動費ってなんなの?